

日本学術振興会 委託事業,
ひらめき☆ときめきサイエンス 2018
「あなたもサイエンス・エドューカーター！」
(白百合女子大学, 後援: 調布市教育委員会)



実施日時 : 2018年12月15日(土) 9:00-16:00
 実施代表 : 大貫 麻美 (白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科)
 実施分担 : 宮下 孝広 (同上), 石沢 順子 (同上), 川口 潤子 (同上)
 椎橋 げんき (同上), 土橋 久美子 (同上), 目良 秋子 (同上)
 実施協力 : 初等教育学科研究室事務職員, 学生ファシリテーター (初等教育学科3年生)
 土井 美香子・寺井 千重子 (NPO 法人ガリレオ工房)

9:00~ 集合・受付 (正門~3号館)

門で出迎えた学生と開講式の会場へ移動。受付を済ませた後、実施代表者の研究室から開講式の部屋に運び込まれていた今日の活動に関する本を閲覧しながら式を待ちました。



9:30 開講式 (3号館 3116 教室)

白百合女子大学副学長の挨拶につづいて、実施代表者から科研費の意義や研究成果、本日の活動スケジュールの説明、担当する大学教員や職員、一緒に活動をする「班の先生」(大学生)の紹介があり、班ごとに活動教室へ移動しました。



10:00 理科読プログラムの体験 (3号館 3002 教室, 3005 教室, 3007 教室, 3011 教室)

8つの班に分かれて、直接体験と読書とを結び付けた理科読プログラムを体験しました。ここでは「班の先生」が参加者の学びを支える理科教育者(サイエンス・エドューカーター)役をしました。それぞれの班が2種類のプログラムを体験しました。



10:55 サイエンス・エドゥケーター（理科教育者）になろう / リハーサル

体験したプログラムのエドゥケーター役なら、どう声かけをするとよいでしょう。教材をどう提示するとよいでしょう。班の仲間や「班の先生」と一緒に考え、悩み、リハーサルをしていく過程で、科学教育研究の大切さや面白さを体験することができました。



12:30 みんなで昼食 / 大学を知ろう（学内見学・初等教育学科研究室訪問）

大学の教職員や保護者も各班に参加して昼食をとりながら懇談した後、チャペルや研究室などの大学構内を見学しました。



13:30 活動再開。サイエンス・エドゥケーター役とステューデント役の両方を体験しました。

エドゥケーター役のときには仲間で考えた工夫を活かして、ステューデント役の参加者の学びを支援していきました。

- 1・2班 力と運動① ものをとばすおもちゃのしくみ 3・4班 力と運動② 空気のあたり方と運動
5・6班 生き物のかたち① 歯のはなし 7・8班 生き物のかたち① 種のすがた



15:40 修了式(3116 教室)

活動を終えた参加者全員に、サイエンス・エドゥケーターの未来博士号が授与されました。

